

## 愛・マテリアル博 2009 マテリアル・アート展 ～Fe～

マテリアル工学科 4年 大畑 賀央 担当教員：横井 裕之

### 1. プロジェクトの目的

私達の身の回りには多くの材料であふれている。それぞれの特性を知り、用途によって材料を使い分けるのはとても大切なことである。私達は多くの材料の中でも金属材料に注目し日々、その特性を学んでいる。その材料の素晴らしさを少しでも一般の方に知ってもらうために、マテリアルの組織や形態をアートとして表現し、展示を行う「マテリアル・アート展」を開催してきた。去年までのアート展もとても好評だったのだがその中で、「これはどのような材料なのか？」という質問が多く寄せられた。そこで今回は、一般の方に最も身近な金属の「鉄」に注目する事にした。

### 2. 実施方法

「鉄」の事をよく知ってもらうために、「鉄」のことについて説明を行ったポスターを2枚製作した。この2枚のポスターを図1と図2に示す。図1のポスターではステンレス鋼の分類とそれぞれの特徴、用途の説明を行った。また図2のポスターでは、鉄と炭素の状態図とそれぞれの組織写真を示した。それぞれのポスターを展示し、来場した一般の方々にわかりやすく説明し、「鉄」の面白さを知ってもらった。

### 3. 成果報告

来場した一般の方々の様子を図3に示す。図3に示されるように家族連れが多く、「組織写真がきれいだった。」「鉄にも色々種類があることに驚いた。」「難しかったけど、面白かった。」「身近な物が例えられていたので、わかりやすかった。」といった意見が多く寄せられ、鉄に興味を持っていただくことが出来た。

### 4. 来年度の取り組みについて

今年は「鉄」に関するポスターを展示した事によって、「これはどのような材料なのか？」という質問に答えることが出来た。そんな中で「アート展」としての要素があまりなかったという指摘をいただいた。したがって、来年度の「マテリアル・アート展」では材料の説明をした上でアートとしての要素を取り入れ、一般の方に少しでもマテリアルという分野に興味を持ってもらえるような取り組みを行おうと思う。

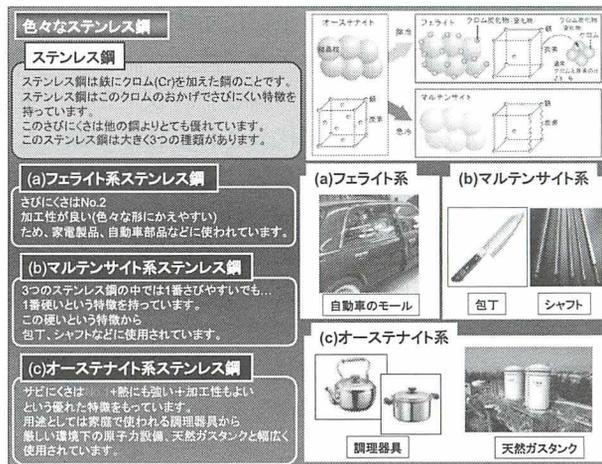


図1 ステンレス鋼について説明を行ったポスター

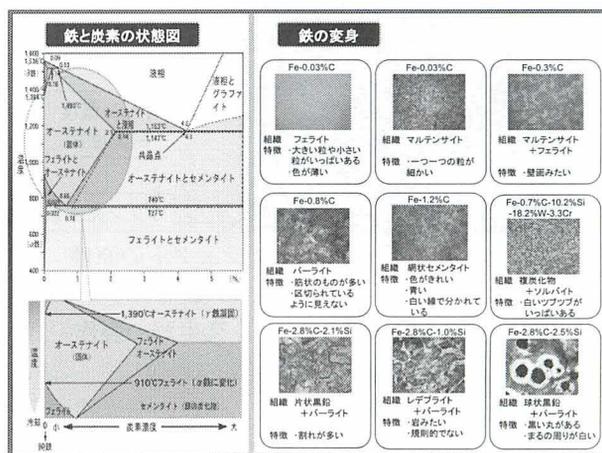


図2 鉄の状態図と組織写真を示したポスター



図3 来場した一般の方々の様子